

《愛知県議会 会議録より》

2018.03.16：平成30年議員定数等調査特別委員会

【下奥奈歩委員】

多くの県民の切実な声を反映できるように総定数は削減することなく、現在の総定数102を維持することを基本とすべきである。

多くの県民の切実な声を反映できるようにするためには1人区をできる限り解消していくことが求められる。本県は1人区が25と国内で3番目に多く、また、1人区は死票が一番多く出るので、少しでも1人区を解消し、一人でも多くの県民の切実な声を反映できるようにするため、名古屋市内外で合区を行う案とした。

また、選挙区の定数配分について、較差は可能な限り最小限にすべきであり、2倍未満とすべきであることや、公職選挙法第15条第8項ただし書は適用せず、原則どおり、人口に比例して、条例で定めるべきであること、逆転現象はなくすべきであることなどを踏まえ、増員区として、岡崎市及び額田郡選挙区を1増、豊田市選挙区とみよし市選挙区を合区したうえで1増、減員区として、津島市選挙区と愛西市選挙区、弥富市選挙区を合区したうえで1減、豊川市選挙区を1減としている。

共産党としては、この試案の内容から変更はない。